JZ

KL-H35

取扱説明書

保証書別添

本機をご使用になる前に、必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

RJA511236-2

CASIO

安全上のご注意

このたびは、本機をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」を意味しています。（左の例はプラグをコンセントから抜く）

⚠危険

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。
1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
1. 電源スイッチを切る。
2. プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

⚠警 告

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 必ず本機専用の別売品(AD-A95100IJ)を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- １つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

ACアダプターについて

電源コードは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する

ACアダプターについて

濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。

感電の原因となります。

⚠警 告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性(＋と－の向き)に注意して正しく入れる

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

水、異物はさける

水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1.電源スイッチを切る。
2.プラグをコンセントから抜く。
3.お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

⚠警 告

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。

内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1.電源スイッチを切る。
2.プラグをコンセントから抜く。
3.お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠警 告

電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない

電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

⚠注 意

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない(必ずACアダプター本体を持って抜く)
- ACアダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは、ACアダプターのプラグをコンセントから抜く
- 使用後は本体の電源スイッチを切り、ACアダプターのプラグをコンセントから抜く
- ACアダプターのプラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年1回以上清掃する

⚠注 意

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光があたる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

⚠注 意

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

大切なデータは控えをとる

本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

⚠注 意

乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
・本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
・万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
・故障、修理、電池消耗等に起因する文章の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

目次

安全上のご注意 …… 表紙の裏
この取扱説明書の読みかた …… 8
こんなことができます …… 9

1章　本機の使いかた

本機を使う前に …… 12
とりあえずラベルを作ってみましょう …… 16
各部のなまえ …… 16
付属の定規を活用しましょう …… 17
乾電池をセットする …… 18
テープカートリッジをセットする …… 19
メモリーの初期化をする …… 20
なまえラベルを作りましょう …… 21
用途別ラベルを作りましょう …… 22

2章　本機の基本操作

電源を入れる・切る …… 25
キーのはたらき …… 26
画面の見かた …… 26
カーソルのはたらきと動かしかた …… 27
操作の進めかた …… 27

3章　文字の入れかた

文字の入れかたを覚える …… 28
練習しよう …… 28
かな入力？ それとも ローマ字入力？ …… 31
かな入力とローマ字入力を切り換える …… 31
文字キーの使いかた …… 31
かな入力のとき …… 31
ローマ字入力のとき …… 31
ひらがな・カタカナを入れる …… 32
ひらがなを入れる …… 32
カタカナを入れる …… 32
いろいろな文字の入れかた …… 33
漢字を入れる …… 34
文章を入力してから変換する …… 34
同音異義語を変換する …… 35
漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換) …… 35
まとめ… …… 36
アルファベットや数字を入れる …… 37
アルファベットの大文字を入れる …… 37
アルファベットの小文字を入れる …… 37
数字を入れる …… 37
記号を入れる …… 38
キーに記されている記号 …… 38
その他の記号 …… 38
絵文字を入れる …… 39

文字を間違えたときは …… 40
間違った文字を消す …… 40
間違った文字をなおす …… 41
文字が抜けていたら… …… 42
すべての文字を消すには …… 43

4章　本機のデータを利用して作る

持ち物に貼るラベルや用途別ラベルを
作ってみましょう …… 44
なまえラベル …… 44
整理・収納ラベル …… 44
ガーデニングラベル …… 44
用途別ラベル …… 45
スリムフォーマットラベル …… 45
なまえラベルを作る …… 46
なまえを登録して手軽に印刷する …… 46
全員のなまえをつづけて印刷する …… 46
他の文字と組み合わせて印刷する …… 47
文字入力画面になまえを呼び出す …… 47
なまえを変更する …… 48
登録したなまえを消す …… 48
こんな作りかたもあります …… 49
整理・収納ラベルを作る …… 50
印刷する …… 50
文字入力画面に項目を呼び出す …… 51
ガーデニングラベルを作る …… 51
印刷する …… 52
文字入力画面に項目を呼び出す …… 53
用途別ラベルを作る …… 54
ビデオタイトルを作る …… 54
フォーマットを使って作る …… 54
サンプルの内容を修正しながら作る …… 56
スリムフォーマットラベルを作る …… 59

5章　自分だけのデザインで作る(フリーラベル)

自分だけのデザインでラベルを
作ってみましょう(フリーラベル) …… 62
2行以上のラベルを作る …… 64
文章をブロックに分ける …… 65
文章をブロックで分けるには …… 65
ブロックでラベルをステキにしよう！ …… 65
書体(フォント)を変える …… 66
アレンジ機能で書体を変える …… 66
こだわり機能で書体を変える …… 66
文字体を変える …… 67
アレンジ機能で文字体を変える …… 67
こだわり機能で文字体を変える …… 67
文字の大きさを変える …… 68
アレンジ機能で文字の大きさを変える …… 69
こだわり機能で文字の大きさを変える …… 70
文字にかざりをつける …… 71
指定した文字かざりを取り消す …… 73

文字にフレームをつける …… 74
アレンジ機能でフレームをつける …… 74
こだわり機能でフレームをつける …… 75
フレームのついた文字をもとに戻す …… 76
縦書きのラベルを作る …… 76
よこ/たてを押して縦書きにする …… 76
こだわり機能で縦書きにする …… 77
うらおもてが逆さまなラベルを作る …… 78
ラベルの長さを決める …… 78
ラベル全体の長さを自由に決める …… 78
ブロックの長さを基準にラベル全体の長さを決める …… 80
決めたラベルの長さを取り消すときは …… 81
決めたブロックの長さを取り消すときは …… 81
文字と文字の間隔を決める …… 82
文字のバランスを整える …… 82
余白の長さを決める …… 83
ブロックとブロックの間隔を決める …… 84
どんなラベルになるのかを画面で見る …… 85
印刷イメージを見る …… 85
印刷レイアウトを見る …… 85
自分でデザインしたラベルを印刷する …… 86
テープを白紙で送る …… 87

6章　おもしろラベルの作りかた
ファンシーラベルを作る …… 88
クラフトシールを作る …… 90

7章　ラベルを登録する
定型フォーマット/スリムフォーマットラベルを登録する・呼び出す・消す …… 93
ラベルを登録する …… 93
ラベルを呼び出す …… 93
登録したラベルを消す …… 94
自分でデザインしたラベルを登録する・呼び出す・消す …… 95
ラベルを登録する(メモリー) …… 95
ラベルを呼び出す …… 95
登録したラベルを消す …… 96

8章　こんなときは
故障かな？　と思ったら …… 97
こんなメッセージが出てきたら …… 99
キレイに印刷されないときは …… 101
「電池残り少」と画面に出たら …… 102
別売のアダプターを使うには …… 103
設定を変えたいときは …… 103
ブザー音を消したい …… 103
基本書体を変えたい …… 104
基本余白を変えたい …… 104
画面の明るさを変えたい …… 105
印刷の濃さを変えたい …… 105

9章　付録　資料集
ローマ字入力一覧 …… 106
記号・絵文字・フレーム一覧 …… 108
内蔵漢字一覧 …… 110
整理・収納項目一覧 …… 114
ガーデニング項目一覧 …… 116
用途別ラベルフォーマット一覧 …… 118
用途別ラベルサンプル一覧 …… 120
スリムフォーマット一覧 …… 122
ファンシーフォーマット一覧 …… 122
クラフトシールフォーマット一覧 …… 122
本機の初期設定 …… 124
仕様 …… 124
別売品一覧 …… 126
ご使用上の注意 …… 129
目的別さくいん …… 130
項目別さくいん …… 132
保証・アフターサービス …… 137
カシオお客様ご相談窓口 …… 137
カシオテクノ・サービスステーション …… 137

この取扱説明書の読みかた

マークの意味

重要 操作を進めていくうえで、欠かすことのできない**注意事項**や**制限事項**などが掲載されていることを示します。

参考 知っておくと**役にたつ情報**や、そこで説明されていることとは少し違った使いかたなどが紹介されていることを示します。

参照 ほかのページでさらに詳しく説明されていることを示します。

キーの表記について

●本文中では、操作手順の中で使うキー(ボタン)を(Q 単語)や(実行)などのように表記しています。

例　(Q 単語)を押したあとに続けて(実行)を押すときの表記

↓

(Q 単語)(実行)と押します。

●本機のキーの上(または下)に「(機能)と同じ色」で書かれている機能(「こだわり」や「文削除」など)を使うには、(機能)を押したあとに続けて「(機能)と同じ色」で書かれている下(または上)のキーを押します。

例　「こだわり」機能を使うときの表記

↓

(機能)(こだわり アレンジ)と押します。

●操作手順の中で、「(∧)(∨)(<)(>)を押して…」と表記されているときは、(∧)(∨)(<)(>)のどれかを押してください。4つのキーすべてを押す必要はありません。

※本機の通常の操作では複数のキーを同時に押すことはありません。なお、複数のキーを同時に押す場合は、「～と…をいっしょに押しながら」などの表現を用います。

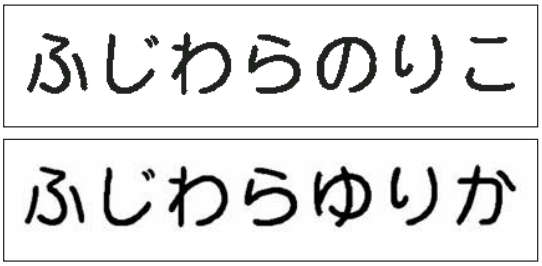
※本文中の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。

こんなことができます

本機では、くらしの中ですぐに使えるラベルの内容や、身の回りの整理整頓に役立つラベルの内容があらかじめ記憶されています。
そのまま印刷しても、自分流に変更して印刷することもできます。
また、自分で作ったラベルを自由にアレンジして、オリジナルラベルを作ることもできます。

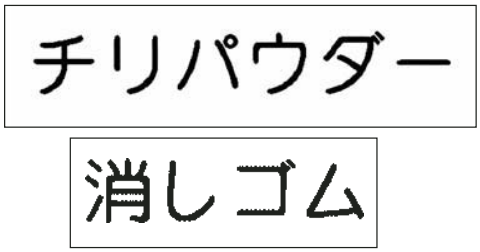
なまえラベルも簡単に作れます！

■なまえラベル



すぐに使えるラベルは、本機の中に記憶済み！

■整理・収納ラベル

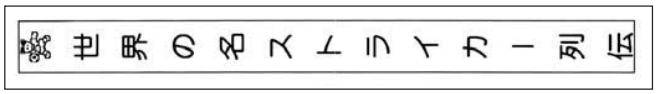


■ガーデニングラベル

フォーマットを選んで文字を入れるだけ！

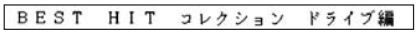
■用途別ラベル

用途別ラベルでは、あらかじめ用意されたサンプルやフォーマットを使って、ラベルを作ることができます。



■スリムフォーマット

MDやCD-R用の幅の狭い背ラベルを作ることができます。



■ファンシーラベル

■クラフトシール

自分だけのオリジナルラベルも自由自在！

こんなラベルを作るには

次のような手順で、本書をご利用ください。

第1章　本機の使いかた（➜12ページ）

↓

第4章　本機のデータを利用して作る（➜44ページ）

こんなラベルを作るには

次のような手順で、本書をご利用ください。

第1章　本機の使いかた（➜12ページ）

↓

第5章　自分だけのデザインで作る（フリーラベル）（➜62ページ）

MEMO

本機を使う前に

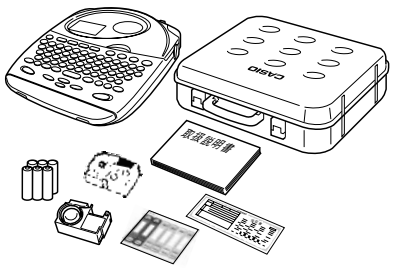
ここでは、
- **本機を買ったあとで必ず行わなければならないこと**
- **ラベルを作ってから印刷するまでの大きな流れ**

について、紹介しています。

本機をはじめて使うかたは、ここをきちんと読んで、本機でラベルを作るときの流れをつかみましょう。

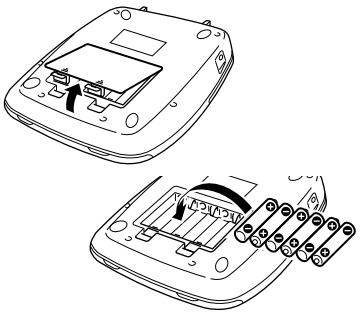
①箱の中身を確認する

ちゃんとそろっていますか？
もしそろっていなかったら、お買い上げの販売店か、巻末のカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。



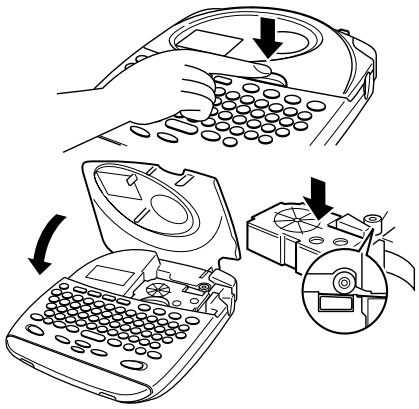
詳しくは17ページ

②乾電池をセットする



詳しくは18ページ

③テープカートリッジをセットする



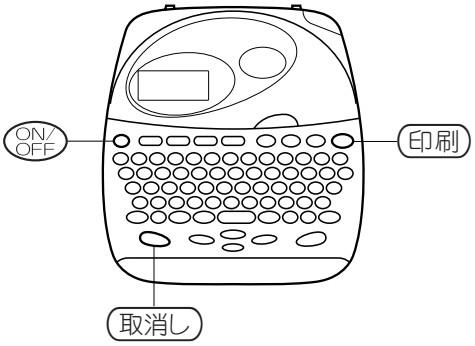
詳しくは19ページ

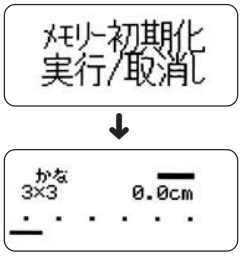
これは、本機を買って、はじめてお使いになるときだけの操作です。
「初期化」をすると、本機に記憶させたデータが全部消えてしまいます。

まだまだ続きます➜

④メモリーを初期化する

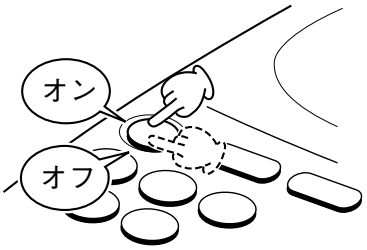
印刷 取消しをいっしょに押しながら、ON/OFFを押します。
その後、ON/OFFを離してから、印刷と取消しを離します。





詳しくは20ページ

⑤電源を入れる



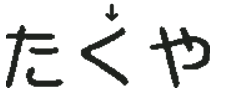
詳しくは25ページ

本機でラベルを作るときは、下のようにいろいろな作りかたがあります。
このあとのページでは、「なまえラベル」と「用途別ラベル」を作ってみましょう。

⑥ラベルを作る

なまえラベル

なまえ



46ページ

整理・収納ラベル

整理・収納

50ページ

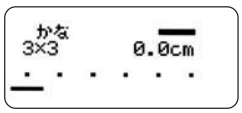
定型フォーマット（用途別ラベルなど）

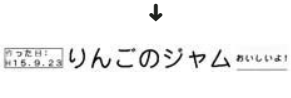
定型フォーマット

54ページ

フリーラベル

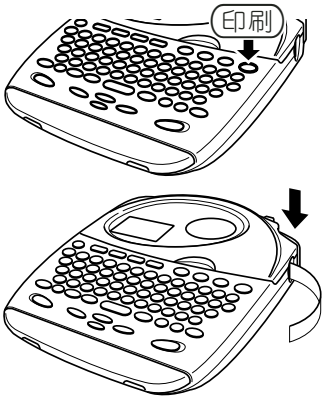
ラベルの長さや文字の配置などを自由に決めることができます。



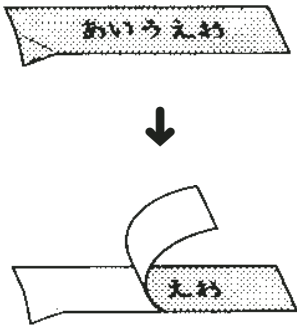


62ページ

⑦印刷する ラベルをカットする



⑧ラベルの裏紙をはがす



⑨ラベルを貼る

詳しくは86ページ

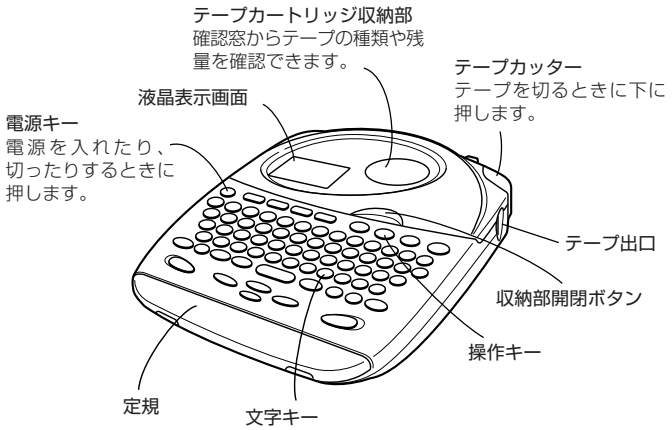
詳しくは86ページ

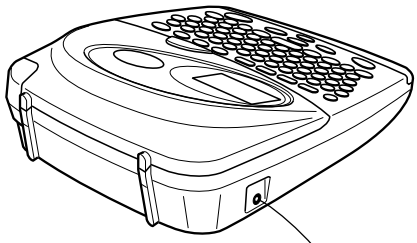
詳しくは86ページ

とりあえずラベルを作ってみましょう

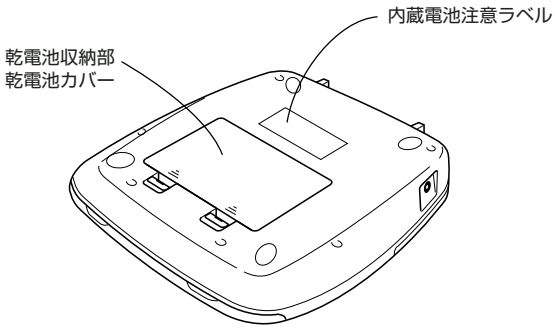
ここからのページで、一通りラベルを作ってみましょう。
「箱の中身を確認する」ところから、「なまえラベル」「用途別ラベル」を作るところまでを説明していますので、練習してみましょう。

各部のなまえ





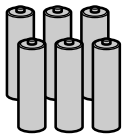
ACアダプター接続端子
別売の専用ACアダプターAD-A95100IJを接続します。



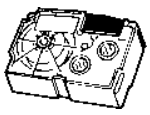
付属品を確認しましょう

ご使用になる前に、以下のような付属品がそろっているかどうかを確認してください。

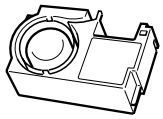
- 単3形アルカリ乾電池 6本



- テープカートリッジ 1個

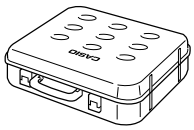


- 取扱説明書
- 保証書
- クラフトシール用カートリッジ 1個



- クラフトシール（1シート）

- 収納ケース



重要 本機を収納した状態で収納ケースを落下しますと、ケースが割れたり本機が故障したりするおそれがありますので、持ち運び等の際には注意してください。

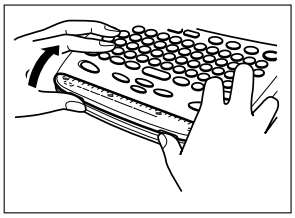
付属の定規を活用しましょう

貼りたいものの大きさに合ったラベルを作りたい―そんなときは、本機に付属の定規を使って、最適なテープ幅を選び、ラベルの長さを決めてから、ラベルを作成しましょう。

※定規はあくまでも目安であり、ラベル作成用にのみお使いください。

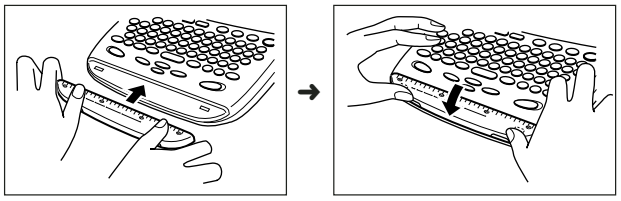
本機から定規を取り外すには

図のように両手でひきあげるようにして、定規を外します。



定規を本機にセットするには

図のように目盛り側を先に本体に差し込んでから、手前についているフックを上から指で押すようにしてはめ込みます。

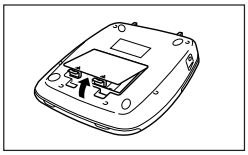


乾電池をセットする

本機をはじめて使うときは、本機といっしょに入っていた乾電池をセットします。

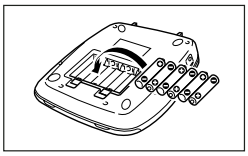
重要 必ずアルカリ乾電池を使用してください。

1 本機をうらにして、乾電池カバーをイラストのようにはずします。

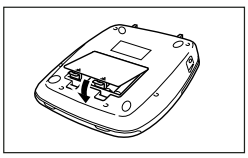


2 乾電池をセットします。

⊕と⊖の向きに注意して、イラストのようにセットします。



3 乾電池カバーをはめます。



- 「電池残り少」と画面に表示されたときは新しい乾電池をセットしてください。

参照 「電池残り少」と画面に出たら（➜102ページ）

- 別売のアダプター（AD-A95100IJ）を利用すると、乾電池をセットしなくても、本機を使うことができます。

参照 別売のアダプターを使うには（➜103ページ）

⚠ 危険

- アルカリ電池からもれたアルカリ液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。
  1.目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
  2.ただちに医師の治療を受ける。
  そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

- 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - 分解しない、ショートさせない。
  - 加熱しない、火の中に投入しない。
  - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
  - 種類の違う電池を混ぜて使用しない。
  - 充電しない。
  - 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れる。

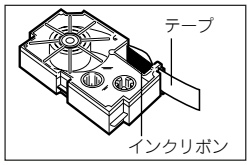
⚠ 注 意

- 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 本機で指定されている電池以外は使用しない。
  - 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく。
- 本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

付属の電池は、工場出荷時より微少な放電による消耗が始まっています。そのため、製品の使用開始時期によっては、所定の使用時間に満たないうちに寿命となることがあります。あらかじめご了承ください。

テープカートリッジをセットする

幅が3.5mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mmのテープが使えます。
※使用できるテープの種類は、別売品一覧でご確認ください。(➜126ページ)

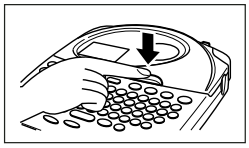


テープカートリッジをセットする

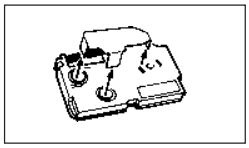
重要 テープカートリッジをセットするときは、電源を切っておきます。

1 (ON/OFF)を押して、電源を切ります。

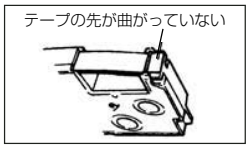
2 **収納部開閉ボタンを押して、カバーを開けます。**
収納部開閉ボタンは、カバーが開いた状態では押すことができません。



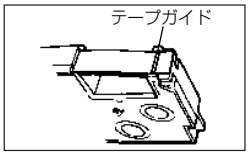
3 **テープカートリッジについているストッパーをはずします。**



4 **テープの先が折れ曲がっていないことを確かめます。**
テープの先が折れ曲がっていたら、ハサミで曲がった部分を切ってください。

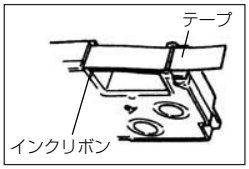


5 **テープがテープガイドにきちんと通っているか確かめます。**
テープガイドからはずれているときは、イラストのようにテープの先をテープガイドに通してください。



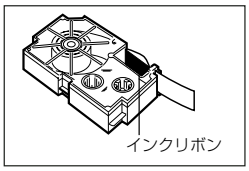
6 **テープを約3cm引き出します。**

重要
- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
- 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。



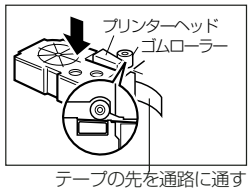
7 **インクリボンがたるんでいないか、確認します。**

重要 インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

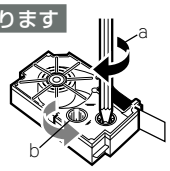


8 **テープカートリッジをセットします。**
テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように真上からおろします(右図)。テープカートリッジはカチッと音がするまで下に押し込んでください。

重要 ななめに入れると、正しくセットされず、リボン切れの原因となります。

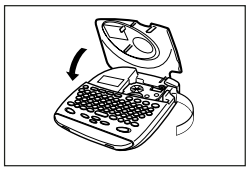


インクリボンがたるんでいたら、たるみをとります
インクリボンがたるんでいたら、aのように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。bの方向に左下の軸が回りはじめるまで右上の軸を回してください。
このとき、テープはいっしょに動きません。



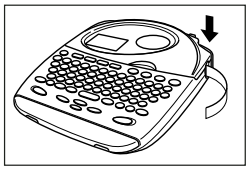
9 **カバーを閉めます。**

重要
- カチッと音がするまでしっかりとカバーを閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

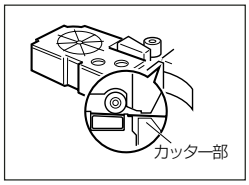


10 **テープカッターを下に押して、余分なテープを切ります。**

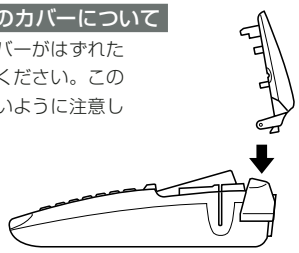
重要 テープをカットするときは、必ずカバーを閉じてください。カバーを開けたままテープをカットすることはできません。



重要 カッターに触れないように注意してください。

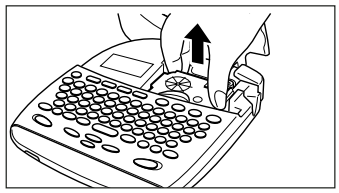


テープカートリッジ収納部のカバーについて
テープカートリッジ収納部のカバーがはずれた場合、図のように再セットしてください。このとき、カバーのツメを破損しないように注意してください。



テープカートリッジを取り出す

テープカートリッジの左上と右下に指を入れて、まっすぐ上に引き上げてください。



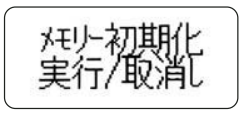
メモリーの初期化をする

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ず**メモリーの初期化**(メモリーリセット)という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

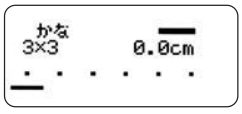
重要 メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータがすべて消えてしまいますので、必要のないときはメモリーの初期化をしないでください。

1 **画面になにも文字がないことを確かめます。**
なにか文字があるときは(ON/OFF)を押します。

2 **(印刷)と(取消し)をいっしょに押しながら、(ON/OFF)を押します。**
その後、(ON/OFF)を離してから、(印刷)と(取消し)を離します。



3 **初期化を実行するときは(実行)を押します。**
初期化をしないときは、(取消し)を押します。



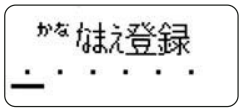
なまえラベルを作りましょう

はじめになまえラベルを作ってみましょう。本機になまえを登録して、呼び出すだけでかんたんにラベルが作れます。
ここでは、なまえを入力・登録するところから、印刷するところまでを説明します。

例 ふじわらのりこ

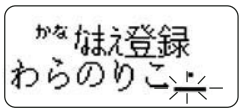
1 (なまえ)を押します。
この場所になまえを登録します。

2 (実行)を押します。
なまえを登録する画面になります。



3 (ふ)(し)(゛゜)(@ ,.)(ん)
(わ ー)(の)(り)(こ)と押します。

4 (実行)を押します。
入力した文字を確定します。
(確定➜32ページ)



5 (実行)を押します。
なまえが登録されました。

メモリーとは

本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。

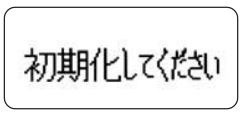
「メモリーの初期化」とは

本機が正常な動作をするために、電気的な設定を行うことです。「メモリーの初期化」を行うと、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータはすべて消えてしまいます。
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

(ON/OFF)を押しても画面に文字があらわれないときは…

- 乾電池を正しくセットしましたか?(➜18ページ)
- 画面の明るさは正しく調整されていますか?(➜105ページ)

電源を入れたとき、こんな画面が表示されたら…



(ON/OFF)以外のキーを押してください(どのキーでもかまいません)。「メモリー初期化 実行/取消し」と表示されますので、そのまま(実行)を押してください。

6 (実行)を押します。

7 (実行)を押します。

8 (実行)を押します。
どのように印刷されるかを見たいときは、イメージ表示にして(実行)を押します。

9 (>)を2回押します。
印刷する枚数を指定します。

10 (∨)を押します。

11 (<)または(>)を押します。
「カット する」にすると、1枚印刷が終わるごとに「テープをカットし[実行]」というメッセージがあらわれます。

12 (実行)を押します。
画面に「テープをカットし[実行]」と表示されます。
↓
テープの余分な部分をテープカッターを押してカットします。

13 (実行)を押します。
↓
印刷がはじまります。

用途別ラベルを作りましょう

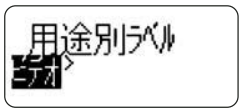
ここでは、ビデオタイトルラベルの作りかたについて説明します。

例 2003年10月10日 たくやの運動会

1 (定型フォーマット)を押します。

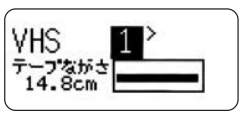
2 用途別ラベルになっていることを確認して、(実行)を押します。

3 新規作成になっていることを確認して、(実行)を押します。

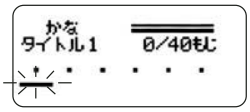


4 ビデオになっていることを確認して、(実行)を押します。

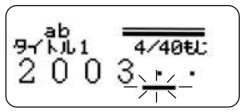
5 VHSになっていることを確認して、(実行)を押します。



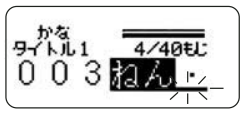
6 (>)を押して**2**にし、(実行)を押します。
ラベルのかたちを選びます。



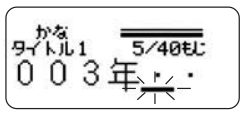
7 (a A)を押して、画面左上に「ab」を表示させて、(2 ゛い) (0 〒の) (0 〒の) (3 # う)と押します。
タイトルを入れていきます。



8 (あ ア)を押して、画面左上に「かな」を表示させて、(9) ね) (. A !)と押します。

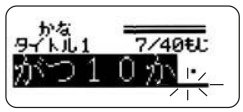


9 (変換)(実行)と押します。

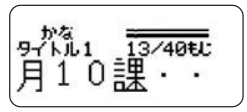


10 (a A)を押して、画面左上に「ab」を表示させて、(1 ! ?) (0 〒の)と押し、(あ ア)を押して、画面左上に「かな」を表示させて、(Q 、) (J) !) (C っ)と押します。

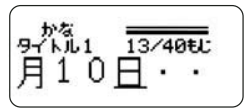
11 (a A)を押して、画面左上に「ab」を表示させて、(1 ! ?) (0 〒の)と押し、(あ ア)を押して、画面左上に「かな」を表示させて、(Q 、)と押します。



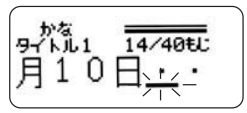
12 (変換)(実行)と押します。



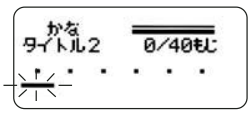
13 (変換)を3回押します。



14 (実行)を押します。

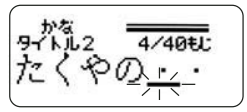


15 (実行)を押します。

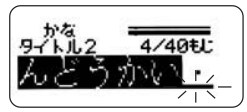


16 (Z 、) (E <) (- = 、) (0 〒の)と押します。

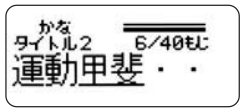
17 (無変換)または(実行)を押します。



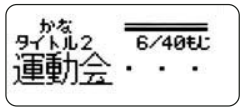
18 (3 # う) (. A !) (B と) (J) !) (3 # う) (Q 、) (2 ゛い)と押します。



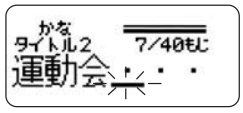
19 (変換)(実行)と押します。



20 (変換)を2回押します。



21 (実行)を押します。



22 (実行)を押します。

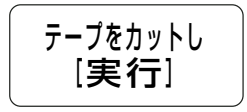
23 (>)を押して「枠付　**なし**」にし、(実行)を押します。

24 (<)を押して「方向　**横書き**」にし、(実行)を押します。

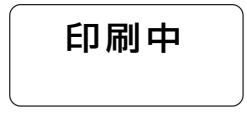
25 「裏書き　**しない**」になっていることを確認し、(実行)を押します。

26 (実行)を押します。

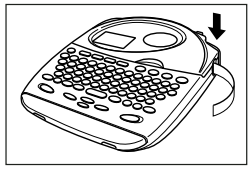
27 (実行)を押します。
どのように印刷されるかを見たいときは、**イメージ表示**にして(実行)を押します。
↓
画面に「テープをカットし[実行]」と表示されます。
テープの余分な部分を、テープカッターを押してカットします。



28 (実行)を押します。



29 印刷が終わったら、テープカッターを押してテープをカットします。



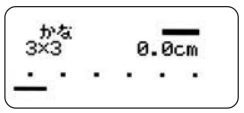
30 (>)を2回押して**終了**にし、(実行)を2回押して、操作を終了します。

電源を入れる・切る

一度「メモリーの初期化」をしたら、次からはON/OFFを押すだけで本機が使えます。

電源を入れるには…

ON/OFFを押します。



電源を切るには…

ON/OFFを押します。

どんなラベルが作れるのか、試してみましょう

本機で使えるいろいろな文字や書体で作ったラベルサンプルを印刷することができます。

① テープカートリッジがセットされていることを確認します。
② ON/OFFを押して電源を切り、再びON/OFFを押して電源を入れます。
③ 印刷を押します。
④ 実行を押します。

デモ印刷中に、途中で数秒印刷が止まることがありますが、故障ではありません。

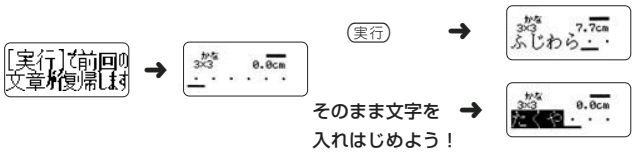
※テープの幅によって、印刷される内容は異なります。
※ファンシーテープ・クラフトシールをセットしているときは、デモ印刷はできません。

前に作成した文章がそのまま使えます

前回、画面に文章を残したまま電源を切り、次に電源を入れると左下の画面になります。

前回の文章をそのまま使いたいときは、実行を押します。
使わないときは、そのまま新しい文章を作ります。

前回の文章が表示される



重要　フレームつきの文章を作成していた場合、電源を切ったときにフレームのデータは消えてしまいます。
電源を入れて実行を押したあと、もう一度フレームをつけなおしてください。

データの保持について

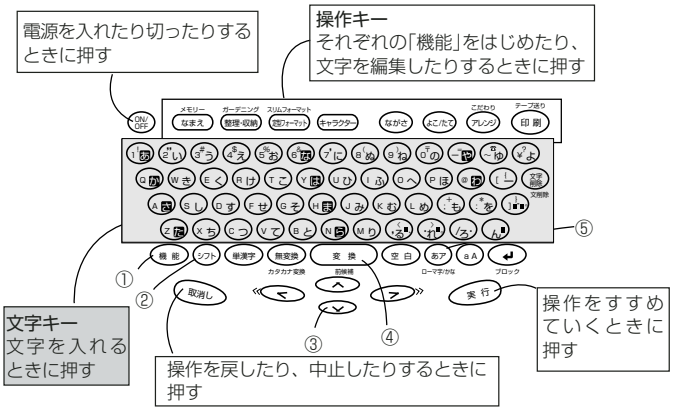
- 本機は、入力・登録した文章などのデータを内蔵メモリー保護用電池の働きで記憶しています。
  本機裏面のラベルに表示されている交換期間を経過すると、内蔵メモリー保護用電池が消耗して、入力・登録したデータが変化・消去されてしまいます。交換期間までに内蔵メモリー保護用電池の交換を、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。有料で交換いたします。
- 本機に登録しているデータ（文字や文章など）は、必ずノートなどに控えをとっておいてください。

電源を切るのを忘れても安心

何も操作をしないで、約6分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これを**オートパワーオフ機能**といいます。
ふたたび本機を使うときは、ON/OFFを押してください。

キーのはたらき

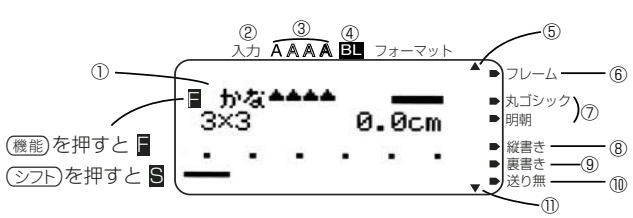
本機には、たくさんのボタンがついています。ボタンのことを、この取扱説明書では**キー**と呼んでいます。**ここではキーの主な使いかたについて説明します。**



①	キーの上（または下）に書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す ※ 機能は、その後に押すキーと同時に押す仕様ではありません。機能を押したら、一度指を離してから、目的のキーを押してください。
②	• かな入力のとき、「っ」や「ょ」などの拗音・促音を入れる場合に押す（➜33ページ） • アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字（または小文字）を入れる場合に押す（➜37ページ） ※シフトは、その後に押すキーと同時に押す仕様ではありません。シフトを押したら、一度指を離してから、目的のキーを押してください。
③	• 文字が入る位置を示した_や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押す • 項目などを選択するときに押す（➜27ページ）
④	ひらがなを漢字などに変換するときに押す（➜34ページ）
⑤	文字キーに書かれているひらがな・カタカナ・アルファベット・数字・記号などを使い分けるときに押す（➜31ページ）

画面の見かた

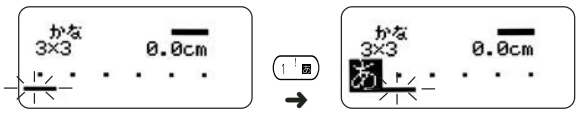
本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。



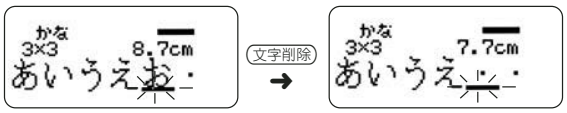
①	かな入力になっていることを示す（➜28ページ） ※「Rかな」と表示されているときは、ローマ字入力になっています。
②	入れることのできる文字の種類を示す（➜32ページ）
③	文字体が何になっているかを示す（➜67ページ）
④	カーソルがあるブロックは何個目かを示す（➜65ページ）
⑤	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す
⑥	フレームがついたラベルが印刷できることを示す（➜74ページ）
⑦	書体（フォント）が何になっているかを示す（➜66ページ）
⑧	縦書きになっていることを示す（➜76ページ）
⑨	裏書きになっていることを示す（➜78ページ）
⑩	余白が「送り無」になっていることを示す（➜83ページ） ※余白が「送り無」のときは、印刷の後にテープ送りをしてください。
⑪	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す

カーソルのはたらきと動かしかた

画面上で点滅している_を**カーソル**といいます。
カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。



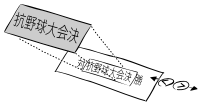
文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。



文字削除を押すと、カーソルの位置にある文字が消えます。

画面からかくれてしまった文字を見るには

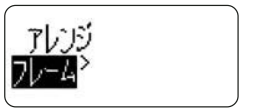
画面にかくれている文字を見るためには、＜＞を押してかくれている部分にカーソルを動かします。これを**スクロール**といいます。
（＜＞を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。）



参考
- 機能 ＜ と押すと、文章の初めにカーソルが移動します。
- 機能 ＞ と押すと、文章の終わりにカーソルが移動します。
- シフト ＜ と押すと、前のブロックマークまたは改行マークにカーソルが移動します。
- シフト ＞ と押すと、次のブロックマークまたは改行マークにカーソルが移動します。

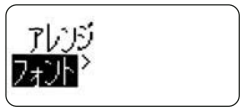
操作の進めかた

1 使いたい機能が書かれているキー（ボタン）を押します。
機能名が一覧で表示されます。
これをメニュー画面と呼びます。



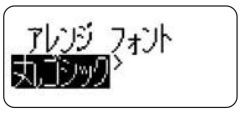
アレンジを押した場合

2 ＜＞のどれかを押し、目的の機能名に■を合わせます。
■を合わせると、文字は白く抜かれて表示されます。■を合わせることにより、その機能を選んだことになります。



メニューによっては、画面の右に▲または▼が表示されます。これは、機能名（または項目）の続きがあることを示しています。∧または∨を何回か押すと、続きを表示させることができます。

3 実行を押します。
実行を押すことにより、操作を進めることができます。



4 引き続き、＜＞のどれかを押し、目的の機能名（または項目）に■を合わせます。続いて実行を押します。

ポイント
- 1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやりなおしたいときは取消しを押します。
- 取消しを何回押しても希望の画面に戻らないときは、一度電源を切ります。再び電源を入れて、はじめから操作をやりなおしてください。

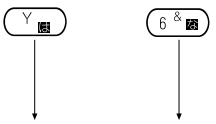
文字の入れかたを覚える

ラベルを作るには、まずどんな文字を使ってラベルにするのかを決めます。ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、記号…、いろいろな文字を自由に組み合わせて、思い思いのラベルを作りましょう。
ここでは文字を入れる流れを説明します。例題にそって、練習してみましょう。

練習の前に… **かな入力?** それとも**ローマ字入力?**

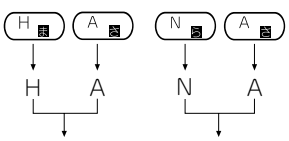
かな入力とは…

直接ひらがななどを入力する方法です。



ローマ字入力とは…

アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入れる方法です。



本機では、はじめは「かな入力」で文字を入れるようになっています。ローマ字入力になれているかたは、「ローマ字入力」で入れることもできます。

「ローマ字入力」にしたいときは、次の2つの方法があります。

① 機能 を押してから、あ ア ローマ字/かな を押します。
もう一度機能を押してからあ ア ローマ字/かな を押すと、かな入力になります。

② 機能 を押してから、こだわり アレンジ を押します。
＜＞を押して環境設定にし、実行を押します。
＜＞を押して入力設定にし、実行を押します。
∧∨＜＞を押してローマ字にし、実行を押します。

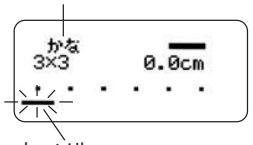
かな入力とローマ字入力については31ページで詳しく説明しています。

練習しよう

例 日曜ドラマ　暴れん坊代官　PART2

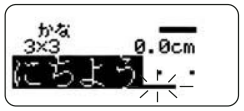
「日曜」（漢字）を入れる

1 画面左上に「かな」が表示されていることを確かめます。
この画面を「文字入力画面」といいます。



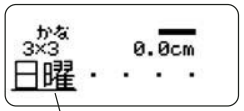
参考 「カナ」、「AB」または「ab」と表示されているときはあ ア を何回か押して「かな」にします。

2 7 に X ち ¥ ? よ 3 # う と押します。



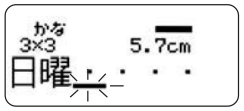
参考 ローマ字入力のときは…
N ん I ふ T こ I ふ Y ゃ O へ U ひ

3 変換 を押します。
画面の にちよう が「日曜」になったのを確かめてください。



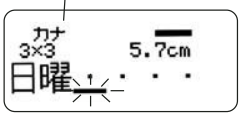
参考 「日曜」にならないときは何度か変換を押してください。

4 実行 を押します。

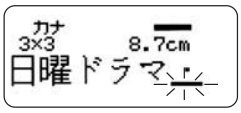


「ドラマ」(カタカナ)を入れる

5 (あ ア)を押して、画面左上に「カナ」を表示させます。



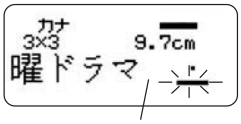
6 (B と) (J ゛) (N ん) (H ま) と押します。



「ドラマ」が入力されたことを確認してください

参考 ローマ字入力のときは…
(D て) (O へ) (R け) (A ま) (M り) (A ま)

7 (空白)を押します。



1字分、スペースが空きます

画面からかくれてしまった文字はどうなるの？

画面に表示されるのは、1行に6文字です。そのため、あたらしく入れようとする文字がつねに表示されるように、画面が自動的に流れていきます。文字が消えてしまったように見えますが、本機がきちんと文字を覚えているので、心配ありません。

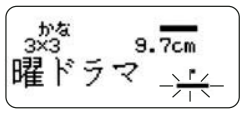
(<)(>)を押すと、かくれた部分を見ることができます。

キーを間違えて押してしまったら…

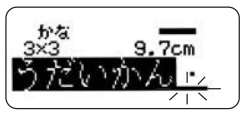
- 文字が間違っていたら…41ページ
- 文字が抜けていたら…42ページ
- 文字を消したいときは…40ページ
- はじめからやりなおしたいときは…43ページ

「暴れん坊代官」(かな漢字まじり文)を入れる

8 (あ ア)を押して、「かな」を表示させます。

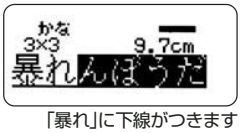


9 (1 ! 図) (Y 凧) (J ゛) (ふ れ) (ん ん) (P ほ) (J ゛) (3 # う) (Z 電) (J ゛) (2 " い) (Q 風) (A ん)と押します。



参考 ローマ字入力のときは…
(A ま) (B と) (A ま) (R け) (E く) (N ん) (N ん) (B と) (O へ) (U ひ) (D す) (A ま) (I ぶ) (K む) (A ま) (N ん) (N ん)

10 (変換)を押します。



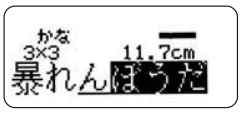
「暴れ」に下線がつきます

ひらがなが希望の漢字に変わらないときは…

希望の漢字が表示されるまで、(変換)を何回か押してください。漢字に変換する方法については34ページで詳しく説明しています。

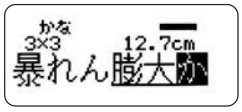
なお、この練習は、メモリーの初期化(➔20ページ)をした直後の画面で説明しています。本機を何度か操作したあとでは、下線のつきかたや変換のしかたが違う場合があります。(学習機能➔36ページ)

11 「暴れ」になっていることを確認して、(実行)を押します。



「暴れ」の下線がとれ、「ん」に下線がつきます

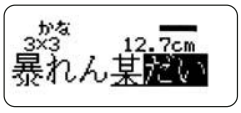
12 「暴れん」になっていることを確認して、(実行)を押します。



残りの「ぼうだいかん」が「ぼうだい・かん」と認識されているため、このような漢字になります

13 (<)を押します。

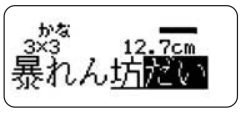
「ぼうだい・かん」を「ぼう・だいかん」に区切るためです。



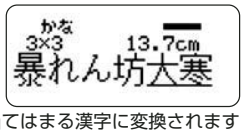
「ぼう」という読みに当てはまる漢字に変換されます

14 (変換)を何回か押して、「坊」にします。

(変換)を押すたびに「ぼう」に当てはまる漢字が次々と表示されます。



15 「坊」になっていることを確認し、(実行)を押します。



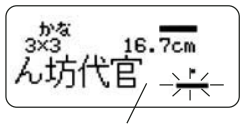
残りの「だいかん」に当てはまる漢字に変換されます

カーソルと下線の違い

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して表示されます。ひらがなを漢字に変えるときにつく下線は、「**現在、変換することができる部分**」を示した印です。

16 (変換)を押して「代官」にし、(実行)を押します。

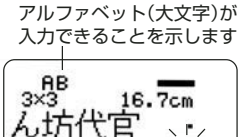
17 (空白)を押します。



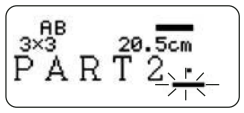
1文字分、スペースが空きます

「PART2」(数字・アルファベット)を入れます

18 (a A)を何回か押して、画面左上に「AB」を表示させます。



19 (P ほ) (A ま) (R け) (T こ) (2 " い) と押します。



参考 ローマ字入力のときも同様に、
(P ほ) (A ま) (R け) (T こ) (2 " い) と押します。

これで、「日曜ドラマ　暴れん坊代官　PART2」が入りました。
(<)(>)を押すと画面が左右に流れます。きちんと文字が入っているかどうか確認してください。

練習した文字をすべて消すときは…

① (機能) (文字削除 文削除)と押します。

② 全文削除になっていることを確認し、(実行)を2回押します。

全文削除については、43ページを参照してください。

かな入力？　それとも　ローマ字入力？

文字を入れる方法には、かな入力とローマ字入力があります。

- **かな入力**…直接ひらがなを入力して文字を入れる方法
  （文字キーの右下のひらがなのとおりに文字を入力します）
- **ローマ字入力**…アルファベットを使ったローマ字よみで文字を入れる方法

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をしたあとでは、かな入力で文字を入れる状態になっています。

かな入力とローマ字入力を切り換える

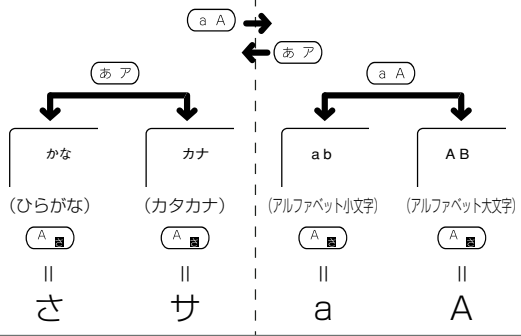
参考
- 「ab」「AB」が画面左上に表示されているときは、まず あ ア を押して、「Rかな」または「かな」を表示させます。
- 「こだわり機能」の「環境設定」で切り替えることもできます。（➜28ページ）。

文字キーの使いかた

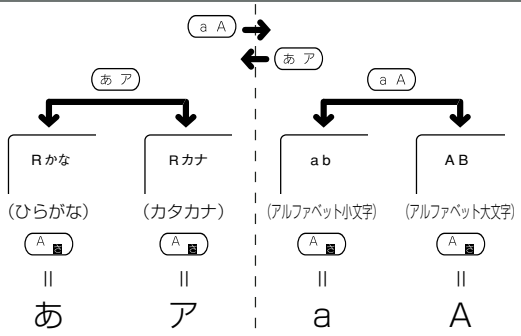
文字キーは、1つで数種類の文字が入力できるようになっています。あ ア や a A を押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・数字・記号が入力できるように、切り換えます。

ここでは A を例にとって、説明します。

かな入力のとき



ローマ字入力のとき



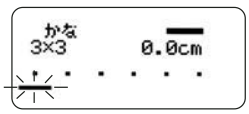
ひらがな・カタカナを入れる

キーを押して文字を画面にあらわすことを、入力といいます。
ここでは、ひらがなとカタカナの入力のしかたを説明します。

ひらがなを入れる

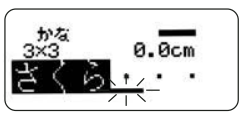
例 さくら

1 **あ ア を何回か押して、画面左上に「かな」を表示させます。**



2 **A E N と押します。**

参考 ローマ字入力のときは…
S A K U R A



ひらがなを入力している最中は、
■が文字に重なっています

3 **無変換 または 実行 を押します。**

参考 「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

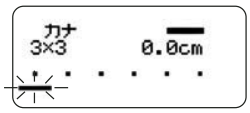
練習した文字をすべて消すときは…

① 機能 文字削除 と押します。
② 全文削除になっていることを確認し、実行 を2回押します。
全文削除については、43ページを参照してください。

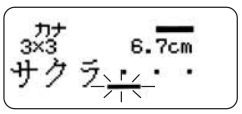
カタカナを入れる

例 サクラ

1 **あ ア を押して、画面左上に「カナ」を表示させます。**



2 **A E N と押します。**
カタカナを入力すると、そのまま確定されます。



参考 ローマ字入力のときは…
S A K U R A

もうひとつのカタカナ入力

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する方法もあります。

例 サクラ

① ひらがなで「さくら」と入力します。

② さくらとなっているときに、機能 無変換 と押します。
さくらが「サクラ」に確定されます。

「カタカナ変換」とは、カタカナに変換して、そのまま確定するという意味です。

いろいろな文字の入れかた

ここでは、小さい「ゃ」「ヵ」、「。(句点)」「ヴ」などの入れかたについて説明しています。

小さい文字の入れかた

	かな入力	ローマ字入力
• ひらがな入力状態のときは、ひらがなが入ります。 • カタカナ入力状態のときは、カタカナが入ります。		
あ	シフト 1	シフト A / X ち A
い	シフト 2	シフト I ふ / X ち I ふ
う	シフト 3	シフト U ひ / X ち U ひ
え	シフト 4	シフト E く / X ち E く
お	シフト 5	シフト O へ / X ち O へ
つ	シフト C っ	X ち T こ U ひ
や	シフト ー	X ち Y A
ゆ	シフト ~	X ち Y U ひ
よ	シフト ゛	X ち Y O へ
わ	シフト @	X ち W き A
• ひらがな入力状態のときも、カタカナ入力状態のときも、カタカナが入ります。 • ひらがなを入れることはできません。		
カ	シフト Q か	X ち K む A
ケ	シフト R け	X ち K む E く

※ローマ字入力のときは、下記のようにして入れることもできます。

促音 例：いった➜ I ふ T こ T こ A
(子音を2回押します。)

拗音 例：きょう➜ K む Y O へ U ひ
(106ページ「ローマ字入力一覧」をご覧ください。)

濁音・半濁音の入れかた

		かな入力	ローマ字入力
濁音	ぼく	ほ ゛ と E く	B と O へ K む U ひ
半濁音	ぽぽ	ほ ゜ と ほ ゜	P ほ A P ほ A

句読点や、「を」「ん」、空白などの入れかた

		かな入力	ローマ字入力
句点	。	シフト れ ゜	れ ゜
読点	、	シフト る ゛	る ゛
長音	ー	ー	ー
中点	・	シフト ろ ゛	シフト ろ ゛
を		* を	W き O へ
ん		ん	N N
空白		空白	空白

「ヴ」などの入れかた

重要 カタカナ入力状態のときに入れることができます。
ひらがな入力状態では、入れることができません。

参照 カタカナを入れる(➜32ページ)

	かな入力	ローマ字入力
ヴァ	3 う ゛ シフト 1	V て A
ヴィ	3 う ゛ シフト 2	V て I ふ
ヴ	3 う ゛	V て U ひ
ヴェ	3 う ゛ シフト 4	V て E く
ヴォ	3 う ゛ シフト 5	V て O へ

漢字を入れる

漢字を入れるには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します。例えば、「花」は「はな」と読むので「はな」とひらがなで入力します。
ひらがなから漢字に変えることを変換といいます。使いたい漢字が表示されたら、実行を押して、ほかの文字に変わらないように確定します。

ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

- **熟語を一度に変換する**
  ①文章を入力してから変換する
  ②同音異義語を変換する(例：公園、後援など)
- **漢字1文字分ずつ変換する(当て字やむずかしい固有名詞などの変換)**

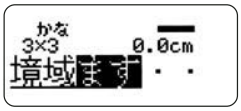
文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。
まとめて変換できる文字数は、32文字までです。

例 今日行きます

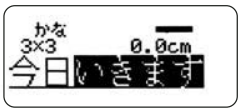
1 「きょういきます」をひらがなで入力します。

2 変換を押します。
「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。



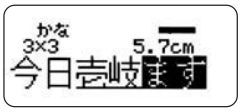
「境域」に下線がついています

3 <を2回押します。
「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。



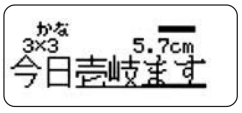
「きょう」が「今日」に変換されます

4 実行を押します。
「今日」が確定されます。

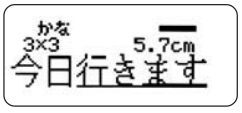


「いき」と「ます」という2つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「壱岐」に変換されます

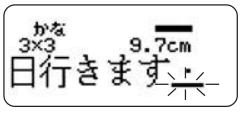
5 >を2回押します。
「いき・ます」を「いきます」という言葉にするためです。



6 変換を何回か押して、「行きます」にします。
変換を押すたびに、「いきます」に当てはまる言葉が次々と表示されます。



7 「行きます」が表示されたら、実行を押します。
「行きます」が確定されます。



カーソルと下線の違い

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときにつく下線は、「**現在、変換することができる部分**」を示した印です。

参考 下線がついているときに取消しを押すと、「よみ」の状態に戻ります。

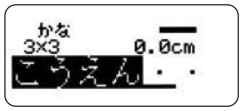
例 きょう ➜(変換) 今日 ➜(取消し) きょう

同音異義語を変換する

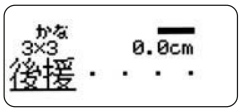
複数の漢字が当てはまる「よみ」(同音異義語)を変換する方法を説明します。

例 公園

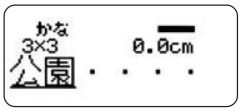
1 「こうえん」をひらがなで入力します。



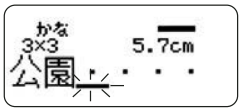
2 変換を押します。
「こうえん」に当てはまる漢字の候補が表示されます。



3 変換を何回か押して、「公園」にします。
変換を押すたびに、「こうえん」に当てはまる漢字が次々と表示されます。



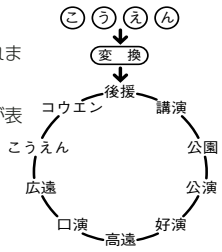
4 「公園」になったら、実行を押します。
「公園」が確定されます。



変換のルール

変換または∨を押すと、次の漢字が表示されます。

機能 変換前候補 または∧を押すと、1つ前の漢字が表示されます。

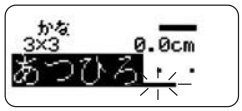


漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換)

当て字やむずかしい固有名詞などを変換するときは、1字ずつ目的の漢字に変換します。

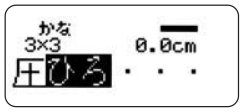
例 敦厲(あつひろ)

1 「あつひろ」をひらがなで入力します。

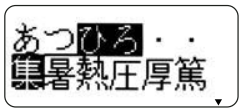


2 変換を何回か押します。

何回押しても、「敦」に変換されません

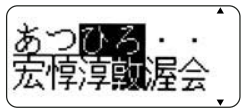


3 単漢字を押します。

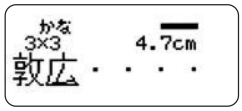


「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます

4 ∧∨<>を押して、敦にします。

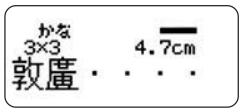


5 実行を押します。
「敦」が確定されます。

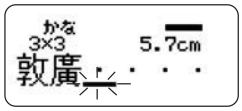


「広」に下線がつきます

6 変換を押して、厲にします。



7 実行を押します。
「厲」が確定されます。



思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ?

次のようなことが考えられます。

- 「週(しゅう)」を「しゆう」と入力している
- 「図(ず)」を「づ」と入力している
- 「通り(とおり)」を「とうり」と入力している
- 「販促(はんそく)」「英検(えいけん)」など、略語の読みを入力している

拗音・促音、「ず」と「づ」、「じ」と「ぢ」、「お」と「う」の入力には特に注意してください。

本機は学習しています

「かい」という読みを「階」で確定したとします。
次回「かい」という読みで変換すると、「階」が一番はじめに表示されます。
これは、前回使った漢字を本機が覚えているためです。
このように、前回使った漢字を最初に表示することを**学習機能**といいます。

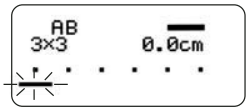
アルファベットや数字を入れる

アルファベット、数字の入れかたを説明します。

アルファベットの大文字を入れる

例 AKI

1 (a A)を押して、画面左上に「AB」を表示させます。



2 (A ■)(K む)(I ふ)と押します。

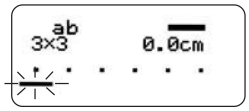
アルファベットは、キーを押したと同時にその文字に確定されます。

参考 ひらがなを入力するときは、(あ ア)を何回か押して、画面左上に「かな」を表示させます。

アルファベットの小文字を入れる

例 a

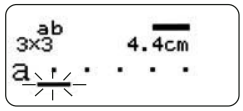
1 (a A)を押して、画面左上に「ab」を表示させます。



2 (A ■)と押します。

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。

参考 ひらがなを入力するときは、(あ ア)を何回か押して、画面左上に「かな」を表示させます。



,（カンマ） .（ピリオド）を入れるには

(a A)を押して、画面左上に「AB」または「ab」を表示させます。
この状態で次のキーを押します。
カンマ：(、を ▮)　　ピリオド：(。れ ▮)

大文字と小文字がまざった文章を簡単に入れるには

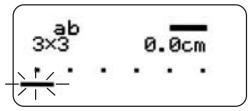
「AB」表示のとき　(シフト)を押してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります。
「a b」表示のとき　(シフト)を押してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。

数字を入れる

例 1 2 3

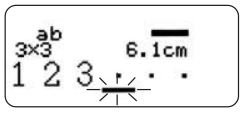
かな入力のとき

1 (a A)を押して、画面左上に「AB」または「ab」を表示させます。



2 (1 !)(2 ' ぃ)(3 # ぅ)と押します。

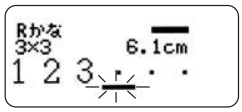
参考 ひらがなを入力するときは、(あ ア)を何回か押して、画面左上に「かな」を表示させます。



ローマ字入力のとき

1 (1 !)(2 ' ぃ)(3 # ぅ)と押します。

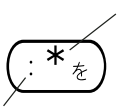
数字は、ひらがな・カタカナ・アルファベットなど、どの入力中でも使えます。



記号を入れる

ふつうの文字のほかに、いろいろな記号を入れることができます。

キーに記されている記号



① アルファベットが入力できる状態のときに入力できる
かな入力のとき　(a A)を押して画面左上に「AB」または「ab」を表示させ、(:*を)➜「：」
ローマ字入力のとき　(:*を)➜「：」

② アルファベットが入力できる状態のときに、(シフト)を押したあとキーを押すと入力できる
かな入力のとき　(a A)を押して画面左上に「AB」または「ab」を表示させ、(シフト)(:*を)➜「＊」
ローマ字入力のとき　(シフト)(:*を)➜「＊」

その他の記号

?『』☞ VI ♡ m² ♪ など

記号は「点など」「かっこ」「矢印」「数字」「丸など」「単位」「省略」「数学」「ギリシア」「ロシア」の10種類のグループに分かれています。108ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

例 ♡（グループ＝丸など）

1 (キャラクター)を押します。

2 (∧)(∨)を押して**記号**にし、(実行)を押します。

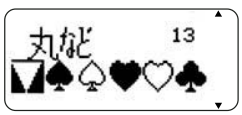
3 (∧)(∨)(<)(>)を押して**丸など**にし、(実行)を押します。

グループ名を選びます。

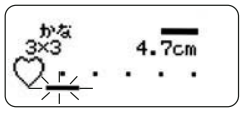
参考 画面には6グループしか表示されていません。かくれているグループを表示させるには、(∧)(∨)を押します。

4 (∧)(∨)を何回か押して「♡」を探します。

記号を探します。



5 (<)(>)を何回か押して♡にし、(実行)を押します。



絵文字を入れる

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は「ペット」「ともだち」「しゅみ」「いきもの」「よてい」「たべもの」「はんこ」「おもしろ」の8つのグループに分かれています。
108ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。

例 （グループ＝たべもの）

1 キャラクター **と押します。**

2 ∧ ∨ **を押して** 絵文字 **にし、** 実行 **を押します。**

3 ∧ ∨ < > **を押して** たべもの **にします。**
グループ名を選びます。

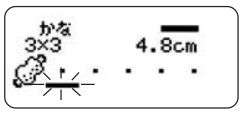
参考 画面には6グループしか表示されていません。かくれているグループを表示させるには、∧ ∨ を押します。

絵文字の番号

4 実行 **を押します。**

5 ∧ ∨ < > **を押して「** **」を探します。**
絵文字を探します。

6 実行 **を押します。**

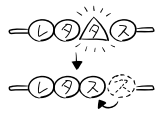


文字を間違えたときは

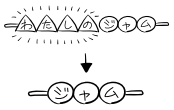
文字を間違えて入力したときのなおしかたを説明します。

●間違った文字を消す

1文字ずつ消す



ある部分をまとめて消す



●間違った文字をなおす

間違った文字を消して正しい文字を入力する（挿入）

間違った文字の上に正しい文字を入力する（上書き）

●文字がぬけていたら

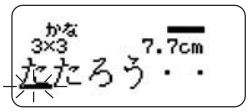
正しい文字を追加する

間違った文字を消す

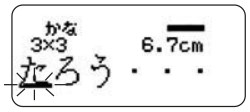
文字を1文字ずつ消す（カーソルの上の文字を消す）

例 「たたろう」の「た」を消して「たろう」になおす

1 < > **を何回か押して、「た」にカーソルを合わせます。**
消したい文字にカーソルを合わせます。



2 文字削除 **を押します。**
「たろう」になります。



参考 つづけて文字を入力するときは、機能 > と押して、文章の終わりまでカーソルを移動させます。

確定前に文字を消すには…

たたろう など、文字に■■■■が重なっているとき（確定前）に文字を消すときも、文字削除 を押して消します。
また、取消し を押すと、■■■■が重なっている文字がぜんぶ消えます。

（確定➔36ページ）

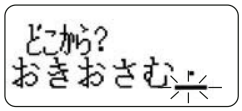
ある部分をまとめて消すには

消したい部分のはじめと終わりを指定して、消す方法です。

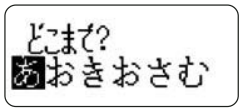
例 「あおきおさむ」を「おさむ」にする

1 (機能)(文字削除 文削除)と押します。

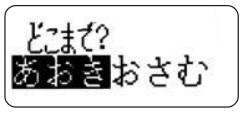
2 (∧)(∨)を押して**部分削除**にし、(実行)を押します。
操作をやめるときは(取消し)を押します。



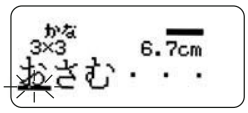
3 (<)(>)を押して「あ」にカーソルを合わせ、(実行)を押します。
消したい部分のはじめを指定します。



4 (<)(>)を押して**あおき**にします。
終わりを指定します。

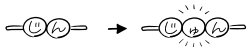
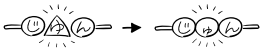


5 (実行)を押します。



間違った文字をなおす

間違った文字をなおす方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

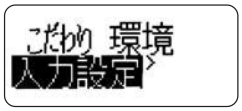
挿　入	上書き
文字と文字の間に新しい文字を追加して入力することができます。  間違った文字を消してから正しい文字を入力します(その逆でも可)。	画面に表示されている文字を新しい文字に入れ替えることができます。  間違った文字の上に正しい文字を入力します。

本機は、前回使っていたときの状態を保持しています。

「上書き」にするとき

1 (機能)(こだわり アレンジ)と押します。

2 (<)(>)を何回か押して**環境設定**にし、(実行)を押します。



3 (<)(>)を押して**入力設定**にし、(実行)を押します。

4 (<)(>)を押して**上書き**にし、(実行)を押します。

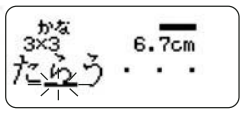
参考 (シフト)(あ ア)と押して「挿入」と「上書き」を切り換えることもできます。
「上書き」にすると、画面左上の「かな」が反転します。

重要 「上書き」のときは、入力済みの文字が消されて新たな文字に入れ替わります。間違って必要な文字を入れ替えることのないように、文字を入力するときは「挿入」にすることをおすすめします。

例 「たらう」を「たろう」になおす

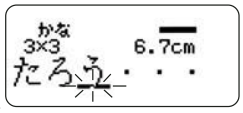
間違った文字を消して正しい文字を入れる(「挿入」状態)

1 (<)(>)を押して「ら」にカーソルを合わせます。
なおす文字にカーソルを合わせます。



2 (文字削除)を押します。
「ら」が削除され、「う」がつまります。

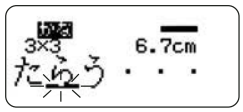
3 「ろ」を入力し、(実行)または(無変換)を押します(確定します)。



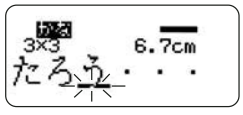
「ろ」が「う」の前に入ります

間違った文字の上に正しい文字を入れる(「上書き」状態)

1 (<)(>)を押して「ら」にカーソルを合わせます。
なおす文字にカーソルを合わせます。



2 「ろ」を入力し、(無変換)を押します(確定します)。



「ら」が「ろ」になります

重要 「上書き」で文字をなおすときは、なおす文字数に注意してください。なおす文字数よりも多く入力してしまうと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまいます。

確定前に文字をなおすには…

たらうなど、文字に■が重なっているとき(確定前)に文字をなおすときも上と同じ操作でなおします。 (確定➔36ページ)

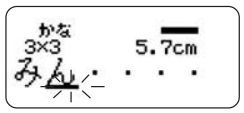
文字が抜けていたら…

「挿入」状態のときには、文字を追加することができます。

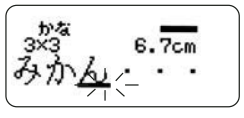
参照 挿入(➔41ページ)

例 「みん」を「みかん」にする

1 (<)(>)を押して、「ん」にカーソルを合わせます。
「ん」の前に文字を入れるためです。



2 「か」を入力し、(無変換)を押します(確定します)。



「ん」の前に「か」が入り、「みかん」になります

確定前に文字を追加するには…

みんなど、文字に■が重なっているとき(確定前)に文字を追加するときも、上の操作と同じ方法で追加します。 (確定➔36ページ)

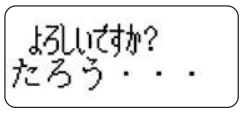
すべての文字を消すには

画面に表示されている文字を、画面から消します。

1 (機能) (文字削除 文削除) **と押します。**

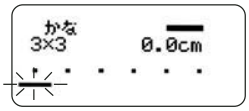
2 **全文削除になっていることを確認します。**

3 (実行) **を押します。**



参考 操作を中止するときは、(取消し) を押します。

4 (実行) **を押します。**



画面にあった文字はすべて消えます

持ち物に貼るラベルや用途別ラベルを作ってみましょう

本機にあらかじめ入っている文字やフォーマットを使えば、目的にあわせていろいろなラベルが簡単に作れます。

なまえラベル（➜46ページ）

「なまえラベル機能」では、はじめになまえを登録しておけば、すぐに呼び出して印刷することができます。
また、登録しておいたなまえと他の文字を組み合わせて、印刷することもできます。

ふじわらゆりか たくや

ふじわらゆりかのおもちゃ箱 たくやのおもちゃ箱

整理・収納ラベル（➜50ページ）

身の回りのものには、「整理・収納ラベル」を貼って整理してみましょう。あらかじめ印刷内容が登録されているので、あとは呼び出して印刷するだけです。

消しゴム

タオル類

Tシャツ

ガーデニングラベル（➜51ページ）

花や観葉植物やハーブのなまえがいろいろ登録されています。花のタネの整理や、プランターにさす植物の名札などに「ガーデニングラベル」が大活躍！

ベンジャミン
（カタカナ名）

Benjamin
（英名）

ベンジャミン
Benjamin
（カタカナ名＋英名）

用途別ラベル（➜54ページ）

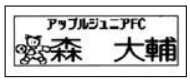
●用途にあわせて4タイプ51種類のラベルが手軽に作れます。

ビデオタイトル

ファイルタイトル

オーディオタイトル

名前ラベル



●用途別ラベルには、つぎの2つの作りかたがあります。

フォーマットを使う（➜54ページ）

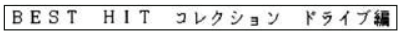
フォーマットを選んで、画面に表示されるメッセージに従って文字を入力していきます。

サンプルを使う（➜56ページ）

実際の印刷サンプルの中から使いたいサンプルを呼び出して、必要なところだけ変更して印刷することができますので、本機をはじめてお使いになるかたでも簡単にタイトルラベルが作れます。

スリムフォーマットラベル（➜59ページ）

MDやCD-Rの背ラベルのような幅の狭いところに貼るラベルを作ることができます。
（使用できるテープカートリッジは、3.5mm幅のものだけです。）



なまえラベルを作る

本機になまえを登録して、呼び出して印刷したり他の文字と組み合わせて印刷することができます。
なまえは5件まで登録することができます。

なまえを登録して手軽に印刷する

（なまえ）を押して自分のなまえや家族のなまえを登録しておけば、すぐに呼び出して印刷することができます。
操作のしかたは、21ページ～22ページで説明しています。

例　ふじわらのりこ

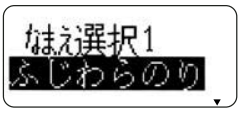
1 登録 ➜ 2 呼出 ➜ 3 印刷

全員のなまえをつづけて印刷する

なまえを5人まで登録しておけば、全員のなまえを一度につづけて印刷することができます。

例 ふじわらのりこ ふじわらゆりか たくや 市川エミ 徳川ジュン

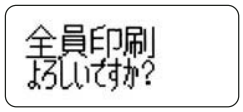
1 （なまえ）を押します。



2 （∧）（∨）を押して、「スペシャル印刷」を表示させます。

3 （実行）を押します。

4 （∧）（∨）を押して**全員印刷**にし、（実行）を押します。



5 （実行）を押します。

6 **印刷**になっていることを確認して、（実行）を押します。
どのように印刷されるかを見たいときは、**イメージ表示**にして（実行）を押します。（印刷イメージを見る➜85ページ）

↓

印刷がはじまります。

↓

印刷が終わったら、テープカッターを押してテープをカットし、ハサミなどで1人分ずつカットしてください。

7 （取消し）を2回押します。

8 「終了しますか？　実行/取消し」と表示されますので、（実行）を押します。

参考 操作を終わらないときは（取消し）を押します。

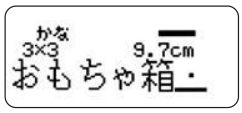
他の文字と組み合わせて印刷する

文字入力画面に文字が入力されていれば、登録してあるなまえを呼び出して一緒に印刷することができます。

重要
- 登録されているなまえがすべて印刷されます。
- なまえと他の文字の合計が、127文字を超えると印刷できません。
- (なまえ)を押すと、入力してあった文の文字かざりが取り消されます。

例 ふじわらゆりかのおもちゃ箱 たくやのおもちゃ箱

1 文字入力画面で文字を入力・確定します。

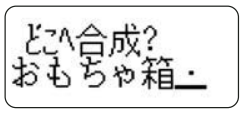


2 (なまえ)を押します。

3 (∧)(∨)を押して「スペシャル印刷」を表示させます。

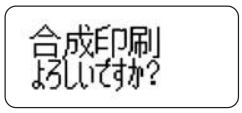
4 (実行)を押します。

5 (∧)(∨)を押して**合成印刷**にし、(実行)を押します。



6 (<)(>)を押してカーソルを「の」にあわせます。
カーソルをあわせた文字の前に、なまえが合成されます。

7 (実行)を押します。



8 (実行)を押します。

9 **印刷**になっていることを確認して、(実行)を押します。
どのように印刷されるかを見たいときは、**イメージ表示**にして(実行)を押します。(印刷イメージを見る➜85ページ)

↓

印刷がはじまります。

↓

印刷が終わったら、テープカッターを押してテープをカットし、ハサミなどで1人分ずつカットしてください。

10 (取消し)を2回押します。

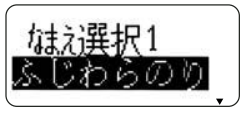
11 「終了しますか? 実行/取消し」と表示されますので、(実行)を押します。

参考 操作を終わらないときは(取消し)を押します。

文字入力画面になまえを呼び出す

登録したなまえを文字入力画面に呼び出すことができます。

1 (なまえ)を押します。



2 (∧)(∨)を何回か押して呼び出したいなまえを選んで、(実行)を押します。

3 (<)(>)を押して**呼出し**にし、(実行)を押します。

参考 呼び出しの操作を始める前に画面になにも文字がなかったときは、画面に選んだなまえが呼び出されて、ここで操作が終わります。

4 (∧)(∨)を押して**新規呼出し**にします。

参考 **新規呼出し**：呼び出しの操作を始める前に画面にあった文章をすべて消して、なまえを呼び出すとき
合成呼出し：呼び出しの操作を始める前に画面にあった文章を消さずに、追加してなまえを呼び出すとき

5 (実行)を押します。
なまえが呼び出されます。

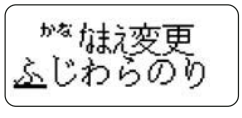
参考 手順4で「合成呼出し」を選んだときは、このあと「どこへ合成?」と表示されます。呼び出したい位置にカーソルを合わせ(実行)を押してください。カーソルを合わせた文字の前に呼び出されます。

なまえを変更する

1 (なまえ)を押します。

2 (∧)(∨)を何回か押して変更するなまえを選んで、(実行)を押します。

3 (∧)(∨)(<)(>)を押して**変更**にし、(実行)を押します。



4 なまえを変更します。

5 終わったら、(実行)を押します。

登録したなまえを消す

1 (なまえ)を押します。

2 (∧)(∨)を何回か押して削除するなまえを選んで、(実行)を押します。

3 (∧)(∨)(<)(>)を押して**削除**にし、(実行)を押します。

4 「よろしいですか?」と表示されますので、(実行)を押します。

5 なまえラベルの操作を終了するときは、(取消し)(実行)と押します。

こんな作りかたもあります

用途別ラベル(定型フォーマット)で作ります。
印刷サンプルをもとにして作る方法と、フォーマットを利用して作る方法があります。

(定型フォーマット)を押して、操作を始めます。

●印刷サンプルをもとに作る

あらかじめ用意された印刷サンプルの中から使いたいサンプルを呼び出して、必要なところだけを変更して印刷することができます。

①「用途別ラベル」を選びます。

②「サンプルから作成」を選びます。

③ お好みのサンプルを番号で選びます。
120ページのサンプル一覧から、使いたいサンプルを選びます。

④必要なところだけをかえていきます。

●フォーマットを利用して作る

あらかじめ用意されたフォーマットの中から使いたいフォーマットを呼び出して、学年・組・なまえなどを画面に従って入力していくだけで、かんたんになまえラベルが作れます。

①「用途別ラベル」を選びます。

②「新規作成」を選びます。

③「名前」を選びます。

④ お好みのフォーマットを番号で選びます。

⑤ 画面に従って文字を入力していきます。

「用途別ラベル」の詳しい説明は、54ページ～58ページでしています。

整理・収納ラベルを作る

身の回りのものには、「整理・収納ラベル」を貼って、整理整頓しましょう。

操作早分かり

1 テープカートリッジをセットする
2 (整理・収納)を押す
3 印刷したい項目を選ぶ(画面に従って選んでいくだけ)
4 印刷する

印刷する

例 消しゴム

1 (整理・収納)を押します。

参考 画面に入力した文字があるときは「入力中の文章が失われます」という画面になります。文章を消して操作を進める場合はそのまま(実行)を押します。消したくない場合は、(取消し)を押してから、その文章を登録します。(➜93～96ページ)

2 (＜)(＞)を押して文具にし、(実行)を押します。

3 (∧)(∨)を押して消しゴムにし、(実行)を押します。

4 印刷になっていることを確認して、(実行)を押します。

5 印刷になっていることを確認して、(実行)を押します。
どのように印刷されるかを見たいときは、イメージ表示にして(実行)を押します。(印刷イメージを見る➜85ページ)

↓

印刷がはじまります。

↓

印刷が終わったらテープカッターを押してテープをカットします。

6 (＜)(＞)を押して終了にし、(実行)を押します。

7「終了しますか？　実行/取消し」と表示されますので、(実行)を押します。

参考 操作を終わらないときは(取消し)を押します。

文字入力画面に項目を呼び出す

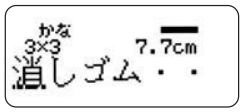
整理・収納ラベルの項目を文字入力画面に呼び出すことができます。

1 (整理・収納)を押します。

2 (＜)(＞)を何回か押して呼び出したいラベルのある分類を選んで、(実行)を押します。

3 (∧)(∨)を押して呼び出したいラベルの内容を選んで、(実行)を押します。

4 (＜)(＞)を押して**呼出**にし、(実行)を押します。
選んだ項目が文字入力画面に呼び出されます。必要に応じて、修正したり印刷したりします。



ガーデニングラベルを作る

花や観葉植物やハーブのなまえがいろいろ登録されています。「ガーデニングラベル」は、カタカナ名表記、英名表記、カタカナ名＋英名表記の中からお好みのスタイルを選ぶことができます。

重要
- 次のようなところにラベルを貼ると、剥がれる場合があります。
  - ・雨があたるところ
  - ・植木鉢などで表面がざらざらしているところ
  - ・土やほこりなどがついているところ
- 水やりを行うときは、ラベルに直接、水がかからないようにしてください。
- 直射日光のあたるところでは、ラベルの色が落ちたり、印刷された文字が薄くなる場合があります。
- 植物のカタカナおよび英名は、一般的に使われている名称の一例を載せています。また、花・観葉植物・ハーブの分類は便宜的に分けたものです。

操作早分かり

1 テープカートリッジをセットする

2 (機能)(ガーデニング 整理・収納)と押す

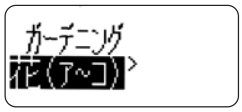
3 印刷したい項目を選ぶ(画面に従って選んでいくだけ)

4 印刷する

印刷する

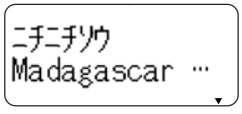
例 ポインセチア（カタカナ名のみ）

1 (機能)(ガーデニング 整理・収納)と押します。



参考 画面に入力した文章があるときは「**入力中の文章が失われます**」という画面になります。文章を消して操作を進める場合はそのまま(実行)を押します。消したくない場合は、(取消し)を押してから、その文章を登録します。(➜93~96ページ)

2 (＜)(＞)を押して**花(ナ~ワ)**にし、(実行)を押します。



3 (∧)(∨)を押して「ポインセチア Christmas f...」を選び、(実行)を押します。

4 (∧)(∨)(＜)(＞)を押して**カタカナのみ**にし、(実行)を押します。

参考
- 英名のみで印刷したいときは**英名のみ**にします。
- カタカナと英名の併記で印刷したいときは**カタ＋英**にします。この場合、2行で印刷されます。3.5mm幅テープでは印刷できません。また、フレームをつけると、テープ幅によっては印刷できません。

5 **印刷**になっていることを確認して、(実行)を押します。

6 **印刷**になっていることを確認して、(実行)を押します。
どのように印刷されるかを見たいときは、**イメージ表示**にして(実行)を押します。(印刷イメージを見る➜85ページ)

↓

印刷がはじまります。

↓

印刷が終わったらテープカッターを押してテープをカットします。

7 (＜)(＞)を押して**終了**にし、(実行)を押します。

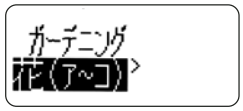
8 「終了しますか？　実行/取消し」と表示されますので、(実行)を押します。

参考 操作を終わらないときは(取消し)を押します。

文字入力画面に項目を呼び出す

ガーデニングラベルの項目を文字入力画面に呼び出すことができます。

1 (機能) (ガーデニング 整理・収納) と押します。



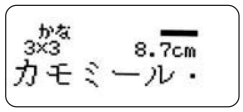
2 (＜)(＞)を何回か押して呼び出したいラベルのある分類を選んで、(実行)を押します。

3 (∧)(∨)を押して呼び出したいラベルの内容を選んで、(実行)を押します。

4 (∧)(∨)(＜)(＞)を押して表記の種類を選んで、(実行)を押します。

5 (＜)(＞)を押して**呼出**にし、(実行)を押します。

選んだ項目が文字入力画面に呼び出されます。必要に応じて、修正したり印刷したりします。



用途別ラベルを作る

操作早分かり

1 テープカートリッジをセットする
2 (定型フォーマット)を押す
3 **用途別ラベル**を選ぶ

4 **新規作成**を選ぶ(➜54ページ)
5 用途別ラベルのフォーマットを選ぶ
- フォーマットを118ページから選びましょう。

あとは、「用途」「規格」「番号」を画面に従って選んでいきます。
6 画面に従って、文字を入力する

4 **サンプルから作成**を選ぶ(➜56ページ)
5 用途別ラベルのサンプルを選ぶ
- 120ページのサンプル一覧から、作りたい用途別ラベルに近いサンプルを選びます。

6 必要なところだけ、文字を変更する

7 印刷する
8 必要に応じて本機に登録する

ビデオタイトルを作る

フォーマットを使って作る

(ビデオ/VHS/番号3)

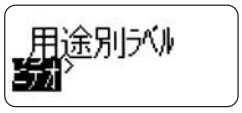
フォーマットを呼び出す

1 (定型フォーマット)を押します。

参考 画面に入力した文章があるときは「**入力中の文章が失われます**」という画面になります。文章を消して操作を進める場合はそのまま(実行)を押します。消したくない場合は、(取消し)を押してから、その文章を登録します。(➜93~96ページ)

2 (＜)(＞)を押して**用途別ラベル**にし、(実行)を押します。

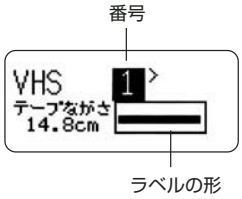
3 (＜)(＞)を押して**新規作成**にし、(実行)を押します。



4 ＜＞を押して**ビデオ**にし、実行を押します。
（用途を選びます。）

参考
- オーディオタイトルを作るときは**オーディオ**にします。
- 名前ラベルを作るときは**名前**にします。
- ファイルタイトルを作るときは、**ファイル**にします。

5 **VHS**になっていることを確認し、実行を押します。
（規格を選びます。）

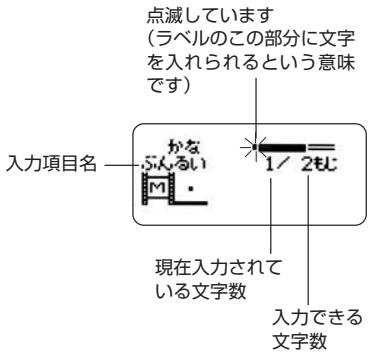


6 ＜＞を押して**3**にします。
（番号を選びます。）

文字を入れる

タイトル・コメントなどの項目ごとに文字を入れていきます。

7 実行を押します。



8 画面の絵文字を確認して、実行を押します。
（タイトルの頭につく絵文字です。）

参考 ほかの絵文字に変えることもできます。画面にある絵文字を文字削除で消し、キャラクターを押して好きな絵文字を入れてください。（絵文字➜39ページ）また、文字や記号を入れることもできます。

9 タイトルになる文字を入れ、実行を押します。

10 コメント1になる文字を入れ、実行を押します。

11 コメント2になる文字を入れ、実行を押します。

いろいろな文字にしたい！

文字を入れているときに、次の指定ができます。
- 書体（フォント）を変えることができます。（➜66ページ）
- 文字体（太字・白抜・影付・立体）を変えることができます。（➜67ページ）

印刷するときのルールを選ぶ➜印刷する

12 ＜＞を押して「方向　**横書き**」にし、実行を押します。
（印刷するときの方向を選びます。）
縦書きにするときは**縦書き**にします。

参照 縦書き（➜76ページ）

13 「裏書き　**しない**」になっていることを確認し、実行を押します。
裏書きにするときは、＜＞を押して「裏書き　**する**」にします。

参照 裏書き（➜78ページ）

14 **印刷**になっていることを確認して、実行を押します。

15 **印刷**になっていることを確認して、実行を押します。
どのように印刷されるかを見たいときは、**イメージ表示**にして実行を押します。
（印刷イメージを見る➜85ページ）

↓

画面に「テープをカットし[実行]」と表示されます。
テープの余分な部分をテープカッターを押してカットします。

16 実行を押します。

↓

印刷が終わったら、テープカッターを押して、テープをカットします。

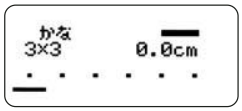
参照 ラベルを貼る（➜86ページ）

17 ＜＞を押して**終了**にし、実行を押します。

参考 ラベルの内容を本機の中に残しておくときは**登録**にします。

参照 ラベルを登録する（➜93ページ）

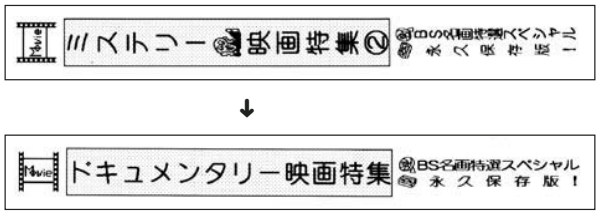
18 「終了しますか？　実行/取消し」と表示されますので、実行を押します。



参考 操作を終わらないときは取消しを押します。

サンプルの内容を修正しながら作る

例



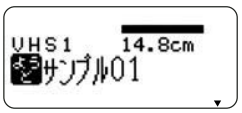
サンプルを呼び出す

1 定型フォーマットを押します。

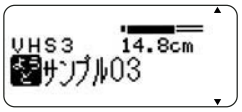
参考 画面に入力した文章があるときは「入力中の文章が失われます」という画面になります。文章を消して操作を進める場合はそのまま実行を押します。消したくない場合は、取消しを押してから、その文章を登録します。(➜93～96ページ)

2 ＜ ＞を押して用途別ラベルにし、実行を押します。

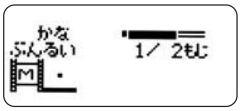
3 ＜ ＞を押してサンプルから作成にし、実行を押します。



4 ∧ ∨を押して、使いたいサンプルを選びます。
「用途別ラベルサンプル一覧」(➜120ページ)からサンプルを選び、サンプルNo.を確認します。



5 実行を押します。

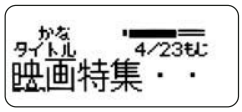


6 画面の絵文字を確認して、実行を押します。
(タイトルの頭につく絵文字です。)

参考 ほかの絵文字に変えることもできます。画面にある絵文字を文字削除で消し、キャラクターを押して好きな絵文字を入れてください。(絵文字➜39ページ)また、文字や記号を入れることもできます。

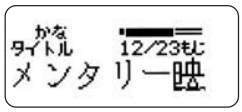
タイトルを修正する

7 変更したい文字を削除します。

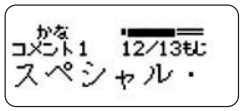


参照 文字を間違えたときは(➜40ページ)
すべての文字を消すには(➜43ページ)

8 あたらしい内容を入れていきます。



9 入れ終わったら、実行を押します。



10 サンプルのコメント1を確認し、必要に応じて内容を変更します。

11 実行を押します。

12 サンプルのコメント2を確認し、必要に応じて内容を変更します。

13 実行を押します。

印刷するときのルールを選ぶ➜印刷する

14 ＜ ＞を押して横書きにし、実行を押します。
(印刷するときの方向を選びます。)
縦書きにするときは縦書きにします。

参照 縦書き(➜76ページ)

15 「裏書き しない」になっていることを確認し、実行を押します。
裏書きにするときは、＜ ＞を押して「裏書き する」にします。

参照 裏書き(➜78ページ)

16 印刷になっていることを確認して、実行を押します。

17 印刷になっていることを確認して、実行を押します。
どのように印刷されるかを見たいときは、イメージ表示にして実行を押します。(印刷イメージを見る➜85ページ)

↓

画面に「テープをカットし[実行]」と表示されます。
テープの余分な部分をテープカッターを押してカットします。

18 実行を押します。

↓

印刷が終わったら、テープカッターを押して、テープをカットします。

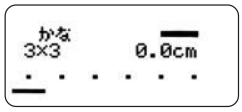
参照 ラベルを貼る(➜86ページ)

19 ＜ ＞を押して終了にし、実行を押します。

参考 ラベルの内容を本機の中に残しておくときは登録にします。

参照 ラベルを登録する(➜93ページ)

20 「終了しますか？ 実行/取消し」と表示されますので、実行を押します。



参考 操作を終わらないときは取消しを押します。

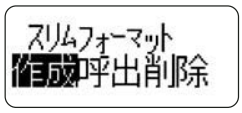
スリムフォーマットラベルを作る

MDやCD-Rの背ラベルような幅の狭いところに貼るラベルを作ることができます。
使用できるテープカートリッジは、3.5mm幅のものだけです。3.5mm幅のテープカートリッジをご用意ください。
※CD-Rケースの厚さによっては、ラベルを貼ることができない場合があります。

操作早分かり

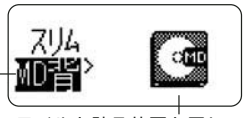
1 テープカートリッジをセットする
2 (機能) (スリムフォーマット/定型フォーマット)と押す
3 作成を選ぶ
4 フォーマットを選ぶ
5 画面に従って、文字を入力する
6 印刷する
7 必要に応じて本機に登録する

1 (機能) (スリムフォーマット/定型フォーマット)と押します。



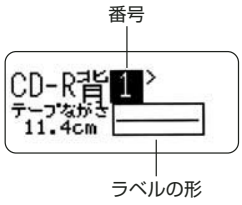
参考 画面に入力した文章があるときは「入力中の文章が失われます」という画面になります。文章を消して操作を進める場合はそのまま(実行)を押します。消したくない場合は、(取消し)を押してから、その文章を登録します。(➜93～96ページ)

2 (<)(>)を押して作成にし、(実行)を押します。



3 (<)(>)を押してCD-R背にし、(実行)を押します。
(規格を選びます。)

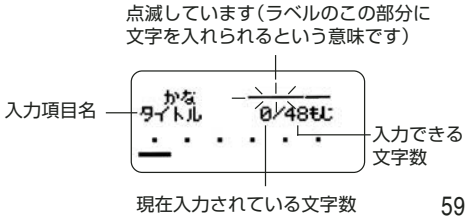
4 (<)(>)を押して2にします。
(番号を選びます。)



文字を入れる

タイトル・コメントなどの項目ごとに文字を入れていきます。

5 (実行)を押します。



6 タイトルになる文字を入れ、(実行)を押します。

7 コメントになる文字を入れ、(実行)を押します。

いろいろな文字にしたい！
文字を入れているときに、次の指定ができます。
- 書体(フォント)を変えることができます。(➜66ページ)
- 文字体(太字・白抜・影付・立体)を変えることができます。(➜67ページ)

印刷するときのルールを選ぶ➜印刷する

8 (<)(>)を押して横書きにし、(実行)を押します。
(印刷するときの方向を選びます。)
縦書きにするときは縦書きにします。

参照 縦書き(➜76ページ)

9 「裏書き　しない」になっていることを確認し、(実行)を押します。
裏書きにするときは、(<)(>)を押して「裏書き　する」にします。

参照 裏書き(➜78ページ)

10 印刷になっていることを確認して、(実行)を押します。

11 印刷になっていることを確認して、(実行)を押します。
どのように印刷されるかを見たいときは、イメージ表示にして(実行)を押します。(印刷イメージを見る➜85ページ)

↓

画面に「テープをカットし[実行]」と表示されます。
テープの余分な部分をテープカッターを押してカットします。

12 (実行)を押します。

↓

印刷が終わったら、テープカッターを押して、テープをカットします。

参照 ラベルを貼る(➜86ページ)

13 (<)(>)を押して終了にし、(実行)を押します。

参考 ラベルの内容を本機の中に残しておくときは登録にします。

参照 ラベルを登録する(➜93ページ)

14 「終了しますか？　実行/取消し」と表示されますので、(実行)を押します。

参考 操作を終わらないときは(取消し)を押します。

MEMO